

「イルパウィ」は世界的なサンポーニャ奏者フェルナンド・ヒメネス氏を中心に、世界を舞台に活躍してきたベテランミュージシャンのみによって2018年に結成されたグループです。ヒメネス氏の他の追隨を許さない圧倒的な演奏技術とコンテンポラルな感性を中心にしつつも、ボリビアの様々な街や村の伝統音楽に精通している「博識派」のメンバーの参加が実現することにより、ルーツに根ざしつつも洗練された、多彩なレパートリーが実現されています。

ボリビア音楽の魅力は、そのシンプルですが美しいメロディーと、民族性・地域性に根ざした独特のリズム感にあります。さらに今回はそうしたフォルクローレ音楽の中でも、厳選された名曲・定番曲ばかりを演奏する予定です。こうした魅力は多くの観客層の心を捉えることと企画者は確信しています。さらに、今回のツアー参加メンバーは、海外公演や国内外でのワークショップ実施経験なども豊富で、音楽を単に演奏するに留まらず、その背景を説明したり、総合的なエンターテイメントとして観客に届けたりすることにも長けていて、これまでフォルクローレ音楽に馴染んで来なかった層にも入りやすい公演を実施することが可能です。

さらに、メンバーの中でもとりわけフェルナンド・ヒメネス氏は、2008年に日本公演をして以来、日本での公演が実現しておらず、来日が待ち望まれていたミュージシャンでもあります。



## フェルナンド・ヒメネス (サンポーニャ)

1963年ボリビア・ラパス生まれ。1977年、13歳でレコードデビューして以来、その天性の技術力・表現力が評価され、国内外の様々なミュージシャンと共演。世界初となる3列クロマティックサンポーニャを開発し、現在のアンデス諸国で使われるサンポーニャのスタンダードとなる。また、海外公演も10代の頃より数多くこなす。1982年には日本に1年ほど滞在中で、フルートの演奏技術や、日本の伝統的な音楽の研究にも励む。現在は、ボリビアの人気フォルクローレグループ「ワラ」で活躍する一方、ボリビアサンポーニャ奏者製作者協会の会長を務めるなど、サンポーニャ文化の発展と継承のためにも尽力している。「金のサンポーニャ」という異名を持ち、ボリビア内外で圧倒的な知名度を誇る、伝説的なプレーヤー。

## ハイメ・コリワンカ (フォルクローレ・ギター)

1955年ボリビア・ラパス生まれ。幼少期より様々な伝統音楽の場面でギター演奏家として活躍、これまでに録音多数。南米諸国やヨーロッパでの公演経験も豊富。「コジャマルカ」「ムシカ・デ・マエストロス」「アラフパチャ」などボリビア農村／都市の伝統音楽を演奏するグループの創立者としても活躍してきた。ボリビア各地で民謡採集などを行っており、ボリビアに200種以上あると言われる伝統楽器を演奏することができるマルチプレーヤーでもある。そのため、ボリビアのコンセルバトリオ(国立高等音楽院)やその他様々な音楽大学・音楽学校での教授経験も持ち、現在ではラパス市のワリ劇場の音楽監督を務める。

## オスカル・コリワンカ (チャランゴ)

1958年ボリビア・ラパス生まれ。ハイメ・コリワンカの弟にあたり、兄とともに幼少期より、伝統音楽の場面でチャランゴ奏者として活躍してきた。ヨーロッパやアメリカ合衆国での録音や海外公演の経験が多数あるほか、フランスへの音楽留学経験があり、チリの伝説的フォルクローレグループ「インティ・イリマニ」に参加するなど、コスモポリタンかつ洗練されたサウンドに定評がある。ボリビア国内においても、兄のハイメ・コリワンカとともに「コリワンカ兄弟」として知られ、国内外の音楽に詳しい「博識派」として高く評価されている。

## 相田 豊 (サンポーニャ)

アンデス音楽研究者。1990年東京生まれ。大学在学時より、アンデス音楽の演奏・研究活動を開始、2016年から2019年まで3年間ボリビアに留学する。ボリビアではフェルナンド・ヒメネス氏にサンポーニャを師事、奏者として活躍する一方、ボリビア伝統音楽の調査研究活動に従事する。2019年にはボリビア最大のレーベル「ディスコランディア」より自身がプロデュース／レコーディングしたCDを発売する。また、伝統音楽の分野では、2016年にエポ・モラレス大統領への表敬演奏や、2018年にはラパスで最大の女性による伝統音楽演奏グループ「ハイリウマ」の音楽監督への就任など、現地の人びとからの信頼も厚い。日本では、2014年のケーナ奏者ロランド・エンシーナス氏招聘を初めとして、中南米の演奏家・文化研究者などの招聘・文化交流イベントの運営に数多く携わっている。東京大学大学院総合文化研究科博士課程に在籍しつつ、日本学術振興会特別研究員として研究業務(文化人類学・アンデス地域研究)を行っている。

## セルヒオ・カリサヤ (パーカッション)

1961年ボリビア・オルロ生まれ。これまでにボリビアの有名伝統音楽演奏グループ「コジャマルカ」での演奏活動を始め、録音・演奏経験が豊富である。様々なリズム形式に豊富なボリビア音楽において、そのリズムを自在に演奏し分けることができる腕を持った奏者として信頼されている。文化政策に精通した外交官としての横顔も持つ。

スペシャルシート  
(指定席) ¥3,500

アンデス模様の  
織物ベンシルケース  
&  
宗次ホール  
オリジナルタオル付



宗次ホールの情報はこちら！  
フォローお待ちしております

♪ 随時  
更新中♪



[https://www.instagram.com/munetsugu\\_hall/](https://www.instagram.com/munetsugu_hall/)



他にも各SNSにて情報発信中！

交通アクセス  
地下鉄栄駅⑫番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック

宗次ホール  
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008  
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716  
E-mail info@munetsuguhall.com  
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター  
営業時間:10:00~16:00  
※13:45以降に開催の公演がある場合は18:00まで営業